

報道関係者各位

静岡県御前崎市と「SDGs×ゼロカーボンシティに向けた プラスチックごみ削減に関する協定」締結

浄水型ウォーターサーバーのレンタル事業を行うウォータースタンド株式会社（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：本多 均、以下弊社）は、2024年3月21日（木）に御前崎市（市長：柳澤 重夫）と「SDGs×ゼロカーボンシティに向けたプラスチックごみ削減に関する協定」を締結しましたので、お知らせいたします。



▲（左より）御前崎市長 柳澤重夫様、ウォータースタンド株式会社取締役東海支社長 福嶋友宣

■御前崎市長 柳澤重夫様コメント

御前崎市では、2021（令和3）年2月に「ゼロカーボンシティ宣言」をし、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取り組みを進めています。また、プラスチックごみによる海洋汚染は三方を海に面した御前崎市にとって、大きな課題となっています。地球温暖化による気候変動への適応が求められるなか、熱中症対策としての水分補給は、とても大切な適応策となっています。

今回の協定により、マイボトル活動が推進され、プラスチックごみ削減の一助となることで、御前崎市民にとっても、御前崎市を訪れる方にとっても、「環境にやさしいまち御前崎市」の実現につながると期待しています。

■協定の概要

本協定はSDGs達成とゼロカーボンシティの実現を目指し、プラスチックによる環境問題に対する御前崎市と当社との共通認識の下、プラスチックごみ削減を目指して締結するものです。様々な主体と地球温暖化や海洋プラスチックごみ問題などの社会解決に向けて連携し、取組を拡大して参ります。

協定締結の下、マイボトル用給水機の活用や、使い捨てプラスチック製品の使用抑制およびプラスチックごみの削減推進の啓発事業の実施などを通じてライフスタイルの変革を呼び掛け、温室効果ガスの削減や環境汚染の防止等につなげて参ります。

■御前崎市の環境政策について

御前崎市は2020年3月に「第2次御前崎市環境基本計画」を策定し、環境への負荷軽減や地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの削減に向けた取組を実施してこられました。また、2021年2月には地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量を2050年までに実質ゼロにすることを目指す「御前崎市ゼロカーボンシティ」を宣言し、将来にわたって良好な地域環境を守っていくことを表明されています。

当社は、同市の宣言・計画に賛同し、使い捨てプラスチックの削減を通じて目標達成に貢献して参ります。

同市と当社は、地球環境問題が共に取り組むべき課題という共通認識の下、マイボトル利用環境の整備促進によるライフスタイルの変革を目的としてマイボトルに給水できるウォータースタンドを設置し、使い捨てプラスチックボトルの削減を通じて意識浸透と行動変容との両面で持続可能な社会の実現に向け協働して参ります。同時に、弊社のこれまでの知見を活用し未来の世代を含めて地域と一体で社会課題解決に寄与して参ります。

■ウォータースタンドについて

浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」は、ボトル不要でいつでもおいしい飲料水が使える利便性の高さと、運搬や使い捨て容器を必要としないエコな給水システムが支持され、子育て世帯を中心とした個人宅や、SDGs達成に取り組む法人、大学などに支持されています。

・弊社の使い捨てプラスチックボトル削減に向けた取組

弊社は使い捨てプラスチックボトル30億本の削減をミッションに掲げ、御前崎市を含め全国の地方公共団体・教育委員会と「ボトルフリープロジェクト」を推進しています。弊社の「ボトルフリープロジェクト」は、誰もがアクセスできる水道水を活用し環境負荷が少ない給水スタンドを整備し、マイボトル活用を推進するものです。本活動を通じて、使い捨てプラスチック削減・CO2排出抑制による気候変動の緩和と、水分補給による熱中症などの被害・健康増進による気候変動への適応の両立を実現します。この取組への協力を様々な組織・団体等に呼びかけながら、同様の取組を日本全国に拡大していきます。

・弊社の取組の事例掲載・受賞一覧

- ・かわさきSDGs大賞2023 特別賞「川崎市地球温暖化防止活動推進センター賞」
- ・令和4年度彩の国埼玉環境大賞「優秀賞」
- ・脱炭素チャレンジカップ2022 「オルタナ最優秀ストーリー賞」
- ・令和3年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」受賞
- ・2021年度日本子育て支援大賞

- ・農林水産省・消費者庁・環境省連携 サステナアワード 2020 伝えたい日本の"サステナブル" サステナアワードルーキー賞
- ・経済産業省関東経済産業局 中小企業の SDGs 取組事例
- ・国立環境研究所気候変動適応センター 気候変動適応情報プラットフォーム

■自治体との協定締結実績一覧

協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名
2019年 6月	さいたま市 (埼玉県)	2021年 6月	泉大津市 (大阪府)	2022年 5月	上野村 (群馬)
2019年 9月	葉山町 (神奈川県)	2021年 7月	さいたま市教育委員会 (埼玉県)	2022年 5月	町田市 (東京都)
2019年 11月	所沢市 (埼玉県)	2021年 8月	日野町 (滋賀県)	2022年 5月	浜松市 (静岡県)
2020年 1月	京都市 (京都府)	2021年 8月	上尾市 (埼玉県)	2022年 5月	二宮町 (神奈川県)
2020年 2月	鎌倉市 (神奈川県)	2021年 9月	島本町 (大阪府)	2022年 5月	山梨市 (山梨県)
2020年10月	世田谷区 (東京都)	2021年11月	藤岡市 (群馬県)	2022年 6月	田川市 (福岡県)
2021年 1月	鯉林市 (群馬県)	2021年11月	岡山市 (岡山県)	2022年 6月	日野市 (東京都)
2021年 1月	小田原市 (神奈川県)	2021年12月	直方市 (福岡県)	2022年 6月	横須賀市 (神奈川県)
2021年 3月	川崎市 (神奈川県)	2022年 1月	杉並区 (東京都)	2022年 7月	鉾田市 (茨城県)
2021年 3月	藤沢市 (神奈川県)	2022年 1月	丹波篠山市 (兵庫県)	2022年 7月	佐倉市 (千葉県)
2021年 4月	志摩市 (三重県)	2022年 3月	妙高市 (新潟県)	2022年 8月	川口市 (埼玉県)
2021年 4月	*春日部市 (埼玉県)	2022年 3月	白岡市 (埼玉県)	2022年 8月	熊谷市 (埼玉県)
2021年 4月	西宮市 (兵庫県)	2022年 3月	川崎町 (福岡県)	2022年 8月	小美玉市 (茨城県)
2021年 4月	尼崎市 (兵庫県)	2022年 3月	多摩市 (東京都)	2022年 8月	狛江市 (東京都)
2021年 4月	吹田市 (大阪府)	2022年 3月	神崎町 (千葉県)	2022年 8月	茅ヶ崎市 (神奈川県)
2021年 6月	龟岡市・龟岡市教育委員会 (京都府)	2022年 4月	熊取町 (大阪府)	2022年 9月	東村山市 (東京都)
2021年 6月	渋谷区 (東京都)	2022年 4月	明和町 (三重県)	2022年 9月	小金井市 (東京都)

*2022年4月満了

協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名
2022年 9月	諏訪市 (長野県)	2023年 4月	鹿屋市 (鹿児島県)
2022年10月	木更津市 (千葉県)	2023年 5月	練馬区 (東京都)
2022年10月	行田市 (埼玉県)	2023年 5月	神奈川県
2022年11月	広島市 (広島県)	2023年 5月	三郷町 (奈良県)
2022年11月	塩谷町 (栃木県)	2023年 6月	廿日市市 (広島県)
2022年12月	坂東市 (茨城県)	2023年 6月	門真市 (大阪府)
2022年12月	富田林市 (大阪府)	2023年 7月	かずみがうら市 (茨城県)
2023年 1月	蓮田市 (埼玉県)	2023年 8月	川越市 (埼玉県)
2023年 1月	品川区 (東京都)	2023年 8月	袖ヶ浦市 (千葉県)
2023年 1月	一宮町 (千葉県)	2023年 9月	滋賀県
2023年 2月	足立区 (東京都)	2023年10月	北本市 (埼玉県)
2023年 2月	寒川町 (神奈川県)	2023年10月	開成町 (神奈川県)
2023年 2月	札幌市 (北海道)	2023年11月	三浦市 (神奈川県)
2023年 2月	豊岡市 (兵庫県)	2023年11月	坂出市教育委員会 (香川県)
2023年 3月	流山市 (千葉県)	2023年12月	米原市 (滋賀県)
2023年 4月	坂出市 (香川県)		
2023年 4月	唐津市 (佐賀県)		

2024年3月31日時点



【ウォータースタンド株式会社 概要】

代表取締役社長：本多 均 (ほんだ ひとし)
 本社：埼玉県さいたま市大宮区桜木町 4-463 (全国 62 拠点 2024 年 3 月末)
 設立：1969 年 3 月 資本金：5,000 万円
 事業内容：浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」・空気清浄機 レンタル

【問合せ先】

ESG 推進室 担当：小野 (おの)
 TEL：048-657-6731 e-Mail：pr@waterstand.co.jp
 コーポレートサイト <https://waterstand.co.jp/>
 サービスサイト <https://waterstand.jp/>